

3月13日

八幡平からは高速道路花巻JCT~釜石道経由
(所要約3時間)

世界の椿館・碁石ごいしに行ってみたよ!

▼洋種の園芸種は花が大きくてバラみたい!!

大船渡市にある世界の
椿館・碁石では世界3か国から
550種の椿を集め、展示して
います。

原種椿... 25種類

園芸種(和)... 415種
(洋)... 110種

〈洋種椿の原産国〉

アメリカ・オーストラリア・
ニュージーランド・イギリス・
ベルギー・フランス・ポルトガル・
イタリア・中国・ベトナム・
フィリピン・台湾

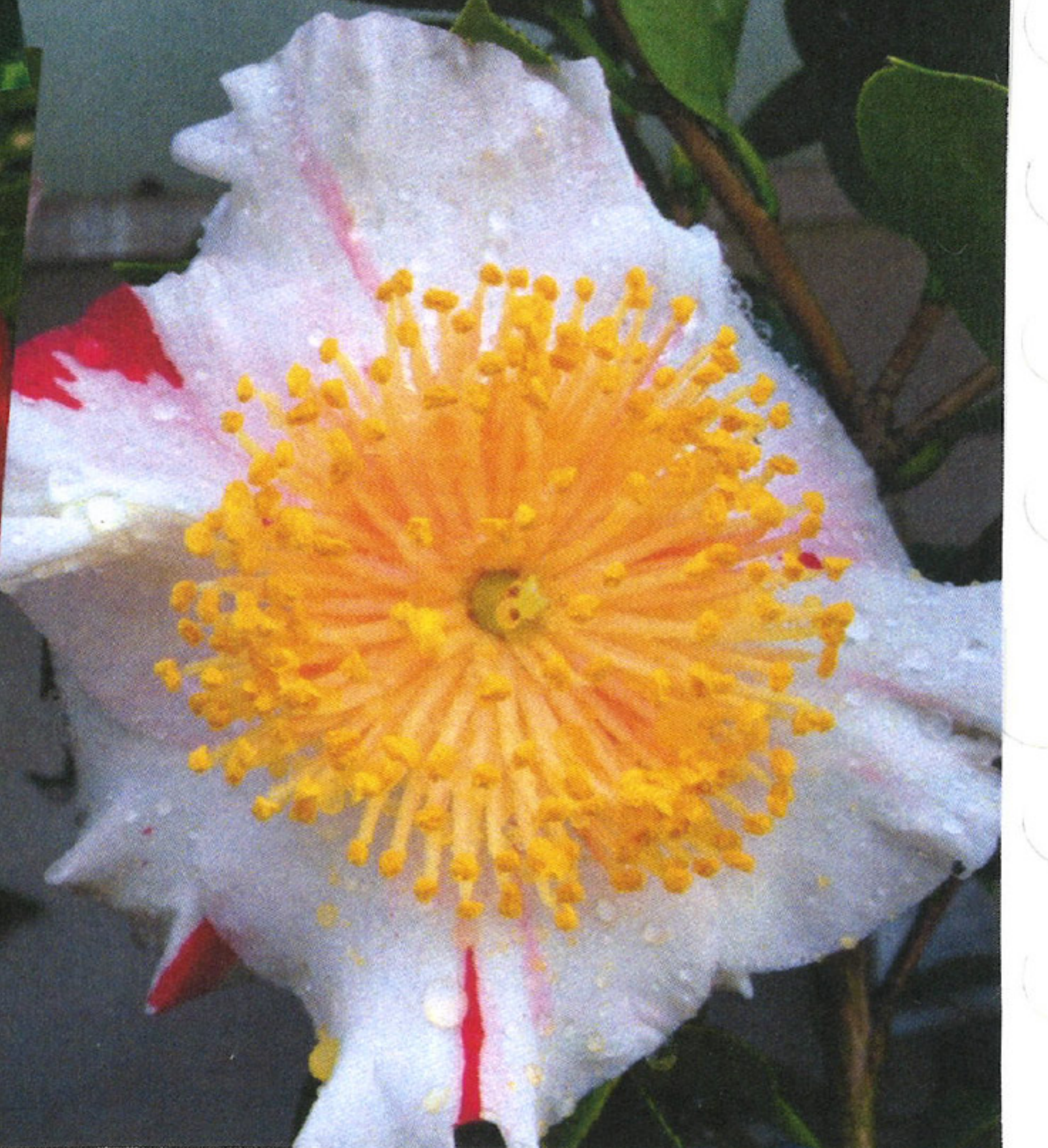
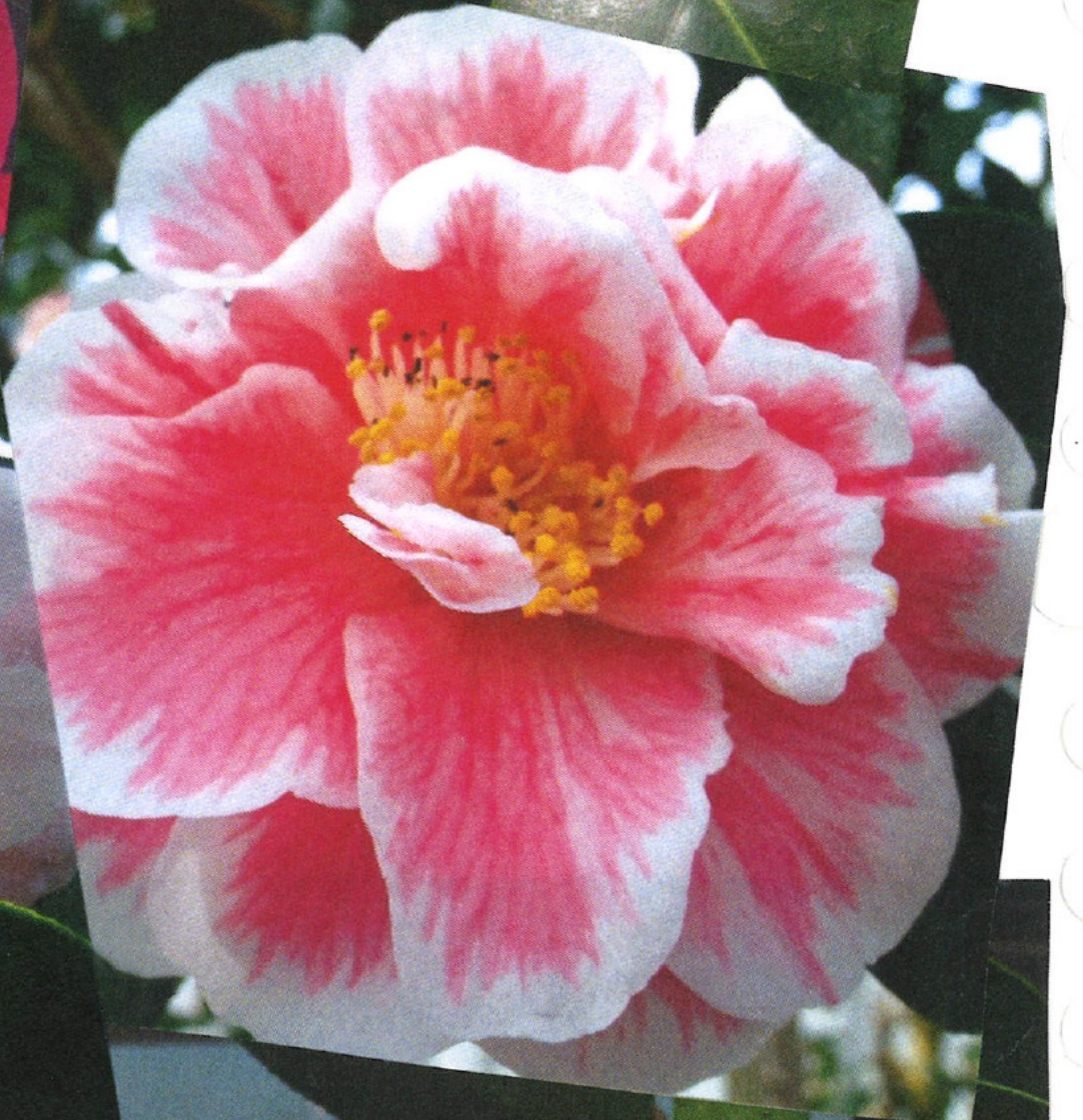


金花茶ぎんかちや

ツバキの仲間で花の色が黄色い種類を
総称して「金花茶」と呼びます。
中国からベトナムにかけて約50種類が
分布しています。黄色い花をつける
椿の存在が確認されたのは、
1965年といわれていて、当時は
大変な話題になったそうです。
中国では椿のことを「山茶」と言う
ので、緑茶や煎茶の茶葉になる
チャも椿の仲間です。

いろいろな
椿が咲いた

品種名はほぼ忘れました💧





1本の木に2種類の色が咲く椿もあるよ!



実は...

お世話になってます

日本酒や醤油、みそなどを造るために欠かせない麹菌。この菌を育てるためには椿を燃やしてできた灰が欠かせません。麹菌は日本固有の菌。この菌と日本人の出会いは室町時代のことだそうです。「神棚にお供えしていた蒸し米に緑色のカビが生えてお酒になった」という偶然から、蒸したお米に椿の灰をかけると他の菌は育たずに麹菌だけが繁殖することを発見。600年以上経った今でも当時と同じ方法で麹が作られています。麹菌はとても弱い菌で、椿の灰の殺菌作用で他の菌が育てないような環境が生まれることで、育つことができます。まさに人の手で育てられた菌なんですね。

ツバキは成長すると20mくらいの高さまで育ちます。幹の太さは10cmほどにしかなりませんが、とても硬く高級な木炭や将棋の駒などに利用されます。昔は大名が使う手火音り(火鉢用の炭)として使われていたそうですよ。



日本古来からのヤブツバキのお花。華やかな改良種もこの花から生まれました。

あなたおしいそ

穴通石磯にも行ってみたよ

< 世界の椿館から車で10分くらい >



大船湾の入口(末崎半島)は1億3千万年前の白亜紀の岩石でできています。穴通石磯は海水の浸食で大きな3つの穴があいた奇岩です。

世界の椿館から徒歩で行ける所には、波が当たると雷のような音が鳴る「雷岩」や「乱曝谷」もあります。怖いくらいの迫力がありますよ!!

